



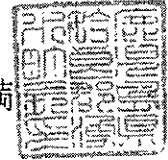
湧建発第 499 号

平成20年10月22日

国土交通省

道路局長 殿

湧水町長 米満重満



今後の道路行政についての意見・提案について(回答)

平成20年9月19日付国道企第37号で国土交通省道路局長から
依頼のあった件について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①
鹿児島県 湧水町

①道路行政全般について改善すべき点, 要望や提案など

地震・豪雨等の災害に対して安全で安心の生活環境を確保するため, 地域の実情に応じた道路網の確保及び緊急時の活動に対応した道路整備の実現, 又高齢者, 身障者, 幼児等の災害弱者に配慮した安心・安全な道路空間の整備実現。

以上のことから中山間地域福祉の原点は, 道路網の整備であると考える。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題

様式 ②

鹿児島県 湧水町

○現状

①平成17年3月に吉松町と栗野町が合併し、湧水町となった。旧町を結ぶ道路は県道102号、国道268号の2路線であるが、県道については山地部を通行することから幅員狭小部や屈曲部が多く通行に支障をきたしている。又豪雨時は崩土等による通行止も発生している。国道においては車両のみが通行できるトンネルがあり、歩行者及び自転車等は落石、路肩決壊、冠水等が頻発する危険な旧道を通行している。

②国が管理する一級河川「川内川」の氾濫により旧町間を結ぶ国道が冠水し、交通が完全に寸断され吉松地域は孤立状態となった。

③本町では地域住民と行政が協働で「美しい町づくり」を提唱し、春秋の2回地域住民による集落内の道路・河川等の美化作業を地域主導で行っている。

○課題

①旧町間を結ぶ国道・県道は、住民にとって日常生活を支える上で重要な路線であり、災害に強く安全で安心して旧町間を通行できる道路整備が必要。

②道路冠水等の道路事業分野と国管理河川の河川事業分野との連携を密にし協働して、住民の安全性若しくは利便性の向上または快適な生活環境の確保を図るために、地域の実情に応じた効率的な整備が必要。

③地域の人口減少、高齢化に伴い、道路及び河川等の美化及び管理等の活動が出来ない状況である。地域の社会基盤を確保するために町で維持補修を行っているが、道路・河川等が長距離になることから財政支援が必要。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2地域の目指すべき将来像

鹿児島県 湧水町

豊富で清らかな湧水など恵まれた自然環境のなかで、住民がいきいきと輝くことができ、まちが活気づくことを期待し、地域の特性といえる芸術文化活動の拠点としての風格をもつイメージします。併せて、このような地域を構築する主役である「人」と「自然」については、「人の心の美しさ(心の豊かさ)」と自然をはじめとする町の「美しさ」を兼ね備えとともに、活発な産業活動が行われ、更なる発展性をもつ地域像をイメージします。

新町の将来像を「人と自然が織りなす芸術のまち、心豊かで伸びゆく美しいまち」

- ・誰もが元気で暮らせる、人にやさしいまちづくり
- ・地域で育て、地域に学び、地域を活かす教育・文化の振興
- ・地域資源を活かして多くの人が交流し、にぎわいのあるまちづくり
- ・住む人に安全で安心、魅力のある都市基盤
- ・住んでみたい、住み続けたい生活環境
- ・住民の相互理解と融和、行政との協働によるまちづくり

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例, 期待する効果や評価等)

様式 ④
鹿児島県 湧水町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
安全分野	国道268号の川添トンネルにおいては, 車両のみが通行でき, 歩行者及び自転車等は落石, 路肩決壊, 冠水等が頻発する危険な旧道を迂回して通行している。 ・平成17年3月に栗野町・吉松町が合併し, 湧水町となったが, 頻繁に国が管理する一級河川「川内川」の氾濫等による冠水被害が発生し, 旧町間を結ぶ国道が冠水し, 交通が途絶えてしまう地域である。この国道を緊急時に補完する県道は山地部を通行することから豪雨時は土砂崩れ等で通行止が発生している。又幅員が狭く, 線形不良箇所が連なっていることで通行に支障をきたしている。	旧町間を結ぶ国道268号は, 住民にとって日常生活を支える上で重要な路線であり, 高齢者, 幼児等の災害弱者に配慮し, 災害に強く安全で安心して旧町間を通行できる最低限の道路整備が必要。 ・国県道の冠水被害防止対策として直轄河川「川内川」の洪水流下阻害となっている横断構造物の改築, 狭窄部の解消等の河川整備と道路整備が一体となった整備が必要。	